

Weekly コラム

令和 5 年 8 月 22 日

〒541-0055 大阪府中央区船場中央 2-1

船場センタービル 4 号館 4 階

船場経済倶楽部

Tel 06-6261-8000

(NPO 法人 SKC 企業振興連盟協議会) Fax 06-6261-6539

人の輪・衆智・繁栄

活動方針



当団体は、異なる業種の経営者が相集い、力を合わせ、自らの研鑽と親睦を通じて、斬新な経営感覚と新たな販売促進を創造して、メンバー同士でより健全な事業所とその事業所のイメージアップを図り、地域社会に貢献できる事業所となることを目的とする。

クレディ・スイス

スイス第2位の銀行であるクレディ・スイスが、ライバルのUBSに買収されるという歴史的な事態となった今回の金融不安ですが、クレディ・スイスは「大きすぎて消せない」銀行として買収、救済されました。

クレディ・スイスは1856年、スイスの起業家アルフレッド・エッシャーによって設立されたスイス信用銀行が前身です。チューリッヒ中央駅前にあるエッシャーの銅像に象徴されるように、エッシャーはスイスがヨーロッパで経済的、文化的に孤立しないように鉄道網を整備し、スイス北東鉄道というアルプスを越えるスイス鉄道の基礎を作りました。この鉄道網を拡大するのに、必要な資本を提供したのが同行です。このようにスイスの歴史、産業発展に貢献してきたスイスを代表する銀行です。

クレディ・スイスとUBSは、2008年の金融危機時に異なった対応を取りました。UBSが政府の救済を受けた一方、クレディ・スイスは政府の救済を受けずに乗り切りました。この金融危機後、世界の銀行は市場の衝撃を吸収するために準備金を蓄えることを余儀なくされ、スイスはこの規制をさらに厳しくした「スイス・フィニッシュ」(自己資本比率規制)を適用しました。このため、スイスではこのような銀行崩壊は二度と起こらないはずでした。

近年、クレディ・スイスでは顧客からの資金流出が顕著になっていました。ブルガリアの麻薬組織によるマネーロンダリングを巡る有罪判決、モザンビークでの汚職への関与、スパイスキャンダルなど不祥事が相次ぎ、昨年10月～12月には1000億ドルを超える顧客資金が流

出し、問題が少しずつ表面化していました。そこに、今回の米シリコンバレー銀行の経営破綻が追い打ちをかけ、欧州の金融不安につながる形でクレディ・スイスの株価が更に下落し、デフォルトに対する保険料も急上昇しました。結局、スイスのアラン・ベルセ大統領は、「クレディ・スイスの制御不能な崩壊は、この国や国際金融システムに計り知れない影響を与える」と述べ、同行の救済を発表することに至りました。

これほどまでにダメージを受けていたクレディ・スイスに対して、もっと早く手を打つことはできなかったのでしょうか。スイスの金融規制当局は銀行を監視しており、大惨事が起こる前に介入することができたはずでした。しかし、2008年の教訓が生かされていませんでした。今回の買収によって、おそらく数千人の雇用が失われ、クレディ・スイスとUBSの支店はスイスのほぼすべての町に置かれていることから、UBSがそれら全ての営業を続けることはないと考えられます。スイスにとって大きな痛手となりそうです。



記事の内容に関するお問い合わせは事務局までご連絡ください。

ウィークリーはメールでの配信も行っております。お手数ですが、「メール希望」・「配信停止希望」と件名にご入力の上、

skc-soudan@skc.ne.jp まで空メールをご送信ください。また、FAX ご不要の際は、その旨をお電話にてお申しつけください。